

## 校長室だより 5号

笑顔いっぱい いきいき学ぶ 上堺っ子

～学びをつなぐ 心をつなぐ 未来へつなぐ～



令和4年6月27日  
横芝光町立上堺小学校  
校長 秋山 てるみ

梅雨の季節に入り、梅雨冷えが続きましたが、6月中旬を過ぎたところから気温がぐんぐん上昇し、一気に夏の気配を感じる日々がやってきました。新型コロナウイルス感染症はいまだ収束には至りませんが、私たちの生活も少しずつ規制が緩和されています。

先日、厚生労働省、文部科学省から「子どものマスクの着用について」が示されました。熱中症予防の観点も踏まえ、「屋外：\*人との距離が確保できる \*人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合」や「屋内：\*人との距離が確保でき会話をほとんど行わない場合」また、「\*学校生活において屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際」においては、「マスク着用の必要はない」とあります。

これを受けて、人との距離や状況に応じてマスクの着用の有無について、子どもたち自身が判断できるよう、指導をしていきたいと考えています。しかし、報道によると「人の目が気になる」「顔を出すのが恥ずかしい」など、様々な理由からマスクを外したくない、外せないという声があるようです。子どもたちには、感染予防のための対策は踏まえつつ、状況を判断し、自分の健康を自分で守っていけるように育てていきたいと考えています。

さて、本年度は、3年ぶりに水泳指導を実施しています。指導に際して、ご家庭に子どもたちの健康観察を十分をお願いするとともに、担任による水泳指導前の健康観察も欠かさず行いながら、指導方法を工夫して実施しています。現在気温が上昇し、プール日和が続く、子どもたちは存分に水泳指導を楽しんでいます。水泳は、水に親しみ泳法を身につけるだけでなく、災害や事故から身を守るための手立てを学ぶことにもつながります。7月には着衣泳法を学ぶ機会も予定しています。水泳指導期間中は、プールの管理や指導体制の整備を徹底し、子どもたちが安全に楽しく学べるよう努めてまいります。



プール掃除を頑張った子どもたち

水泳指導を前に、消防署職員の方々から心肺蘇生の研修を受ける教職員



3年ぶりのプールを存分に楽しむ子どもたち

